

月刊 労働千葉



国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.3.13 No.2994



連続講座

家族会連続講座大盛況 (3/5)

料理編

三月五日家族会は、第四回連続講座を二〇名が集まるなか開催した。今回のテーマは、「朝鮮の家庭料理」ということで、講師には指紋押捺拒否の闘いを闘っているAさんを招いて、ピビンバ、ピョニユッ(ゆで豚)、チデム(お好み焼風)など五点のメニューの作り方、食べ方も含めて教えていただいた。

午後からは、作った料理を囲んで交流会。講師の方からなぜ指紋押捺拒否闘争に起ちあがったのか、などの話に聞き入り、また、おいしい料理に舌鼓をうち、大変有意義な一日だった。また、この日東京で行なわれた「もう黙ってはいられない女たちの大集会」に二名の代表を送り、発言を行ってきた。

反合・運転保初確立 清算事業団自争勝利人!

動労千葉第二〇回定期委員会は、三月十八日(土)、十三時、千葉県教育会館で開催される。われわれは、この定期委員会で、「清算事業団闘争勝利、反合・運転保安確立、八九・三ダイ改」阻止を掲げて闘った一三月闘争を総括し、「三・二六 三里塚現地」

真の事故の原因と責任

 われわれが、定期委員会で確立すべき第一の課題は、東中野事故にまで至ったJR東日本の運転

集会」を皮切りに、「四五動労千葉結成十周年レセプション」を成功させ、清算事業団闘争勝利、反合・運転保安確立へ向けてさらに闘い抜く決意と方針を打ち固め、八九春闘方針と暫定予算を確立しなければならぬ。

成功させよう。二月十八日(土) 十三時 千葉県教育会館

三月五日家族会は、第四回連続講座を二〇名が集まるなか開催した。今回のテーマは、「朝鮮の家庭料理」ということで、講師には指紋押捺拒否の闘いを闘っているAさんを招いて、ピビンバ、ピョニユッ(ゆで豚)、チデム(お好み焼風)など五点のメニューの作り方、食べ方も含めて教えていただいた。

午後からは、作った料理を囲んで交流会。講師の方からなぜ指紋押捺拒否闘争に起ちあがったのか、などの話に聞き入り、また、おいしい料理に舌鼓をうち、大変有意義な一日だった。また、この日東京で行なわれた「もう黙ってはいられない女たちの大集会」に二名の代表を送り、発言を行ってきた。

われわれが、第二〇回定期委員会で確認しなければならぬ第二の課題は、清算事業団へ不当配属された十二名の仲間の原職奪還の闘いを、何と

しても勝利させる闘う方針を確立することである。今日、三千名の国鉄労働者が「原地・原職」奪還を要求して闘い抜いている。

えて、しっかりと確立することである。われわれは、この間の闘いを通して東中野事故の真の原因は、

①「四・一分割・民営化」の過程で、運転保安を全く無視した首切り合理化と極限的労働強化を強行したこと、

②職場・生産点にチェックマンを排かいさせ、列車を三〇秒遅らせれば乗務停止やボーナスカットを押し付け、運転事故処

JR当局と鉄道労連・革マルの開き直りを許すな!

しかし、JR当局と鉄道労連・革マルは、いまだに自らの事故責任を開き直り、「事故の原因は故平野運転士のミスにある」と公然と説明している。

必ず「原地・原職」奪還をかちとろう!

分まで組合差別を持ち込むという強権的労務政策にあることを明確にした。そして、東中野事故の真の責任が、国鉄分割・民営化を推進し、強権的労務支配をすべてに優先し、「赤信号でも進行しろ」というATSの取り扱いを乗務員に指導・強制してきたJR東日本当局と鉄道労連・革マルにあることも明らかにしてきた。

清算事業団の仲間を職場へ奪還する第一の要件は、全国鉄労働者が清算事業団の当該労働者を先頭にストライキに決起することである。

これなしに、原地・原職奪還をかちとることはできない。

一九九〇年三月三十一日の時限立法期限切れまでに、必ず決戦となることは明らかである。

北海道・九州の仲間はもちろん、明らかにレツドパージである動労千葉十二名をはじめとする「本州の一〇〇人」についても、ひとり残らず「原地・原職」奪還をかちとるために、断固たる闘いを創り出していこう。

同時に、そうした闘いを軸として強制配転者の原職奪還をかちとるのだ。

国労中央は「全員を本州三社へ広域採用」させようとし、鉄道労連・革マルは会社に対し「採用するな」と要求している。われわれは、いかなる者であれ、三千名労働者の「原地・原職」の切実な要求を押しつぶすことは絶対に許せない。

全国鉄労働者のストライキを!
